

## 青少年教化の視点

### ■子どもから見えている世界

おもしろい作文に出会いましたので紹介します。

お風呂(小学生の作文)

ぼくがテレビを見ていたら、お母さんが

「はやくお風呂に入りなさい」と言いました。

ぼくはいやだなと思ってなま返事をしました。

するとお母さんが「はやく入れ」とまた言いました。

お風呂場に行くと、お母さんは

「はやく服をぬぎなさい」と言いました。

ぼくがお風呂につかっていると、今度はお母さんが

「まだつかっているの。はやく出て体を洗いなさい」と言いました。

体を洗っていると、

「いつまで洗っているの。はやく出て体をふきなさい」とお母さんが言いました。

ぼくは出て体をふいていると

「まだふいているの。はやく服を着なさい」と怒って言いました。

ぼくがあわてて服を着ていると

シャツが反対になっていました。

それを見てお母さんが

「このアホ、もっとゆっくり落ち着いて着ないからだ」と言いました。

ぼくはもう何が何だかわけが分からなくなりました。

明日は母の日です。

ぼくは明日の母の日にはカーネーションのかわりに

くちなしの花をお母さんに贈ろうかなと思っています。

いかがでしたか。私は涙が出るほど笑ってしまいました。作者の子はこの時、矛盾する大人の理屈にさぞ混乱したことでしょう(笑)

子どもたちにとって、お父さんお母さんが言う言葉で一番嫌いな言葉が、この「はやく」だそうです。私も現在、育児・子育ての真っ最中。今日は何だか「はやく～」の言葉を使っただろうかと振り返ります。子どものためと思いながらも、大人(私)の都合を押し付けているのかもしれない。

### ■育児と育自、子育てと己育て

青少年教化といっても、子どもたちに真宗の教えを伝えながら何か方向づけをしようとしたり、大人が勝手に思う「良い子」に導こうとするものではないのでしょうか。むしろ子どもたちの方から、私が大人のわがままな世界を生きていたことに気づかせてもらう。育児・子育てを通して「育自・己育て」をさせてもらうこと。その気づきの繰り返し、同じ目線で出会う育児・子育て、そして青少年教化になっていくのかなと感じています。このことを同じく子を持つ親世代と共有していくことも大事な関わりだと思います。

### ■青少年教化はサイクル教化

青少年教化の対象は、小さな子だけではなくありません。幼児から少年、そして青年、若者(親世代)という広い幅を持ちます。青少年部会で

は、各ライフステージに関わりをもって、その成長を見守るサイクル教化を目指します。幼児(初まり式)、少年(子ども会)、青年(事業スタッフ)、若者(親として参加する初まり式や家族報恩講)、そしてまた幼児へというサイクルで、ともに歩み、学び学ばせてもらう関係を築いていきたいと思っています。

### ■教化の現場は家庭

青少年部会の中心テーマは、「正信偈を歌い継ぐ ～お内仏に集う家族形成サポート～」です。育児・子育てに懸命になればなるほど一方通行になりがちな視点を、お内仏の場で、祖父母世代が「ゆっくりでいいよ」の世界を語れる家庭同朋会が築かれていくことを願います。そして、家族で同じ方向を向いて、家族の歌「正信偈」が歌い継がれるサポートができるよう、事業を展開していきたいと思っています。

このたびの能登半島地震によって、お内仏という「場」が失われた家庭が多くあると思います。我々にどんなお手伝いができるか。三つ折り本尊やお勤め本をお届けしたり、能登の地で子どもたちと関わりを持つ事業ができないかと考えているところです。

青少年部会 幹事

真蓮寺住職 三島大遵



## ★令和6年能登半島地震発生★ 飛騨御坊ボランティア委員会「思縁！」活動レポート



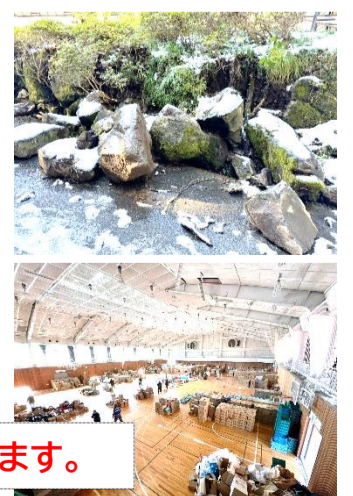
寺院本堂倒壊(珠洲市)

1月17日、飛騨御坊ボランティア委員会の有志3名で、輪島市門前町(門前健民体育館)に食品等の支援物資をお届けしてきました。富山県氷見市から能登半島西側の羽咋市方面を抜け、門前町に向かいました。

瓦が落ちたため、屋根にブルーシートがかけられた家屋が多く見られましたが、志賀町を越えたあたりから景色が一変。あちこちで裂け、「隆起」とも「陥没」とも表現できない道路。その脇に並ぶ、1階部分が潰れ、地面から屋根が生えているかのような家屋が一面に広がり、言葉を失ってしまいました。

支援物資を受け取ってくださった自衛隊の方は、「食料は足りていません。1日2回行っていた配給を、今は1回に減らしています」とお話しくださいました。インターネット上では「食料は足りている」などの情報も見られましたが、刻々と変化する状況は、現地の声を聞かないと分からないことがあるのだと痛感しました。

現在は、道路状況が悪いことに加え、断水や停電によりトイレが使えない地域も多く、大人数で現地に出向く支援活動は困難ですが、違った形で現地の求めに応じたサポートもできるはずです。今後とも、飛騨御坊ボランティア委員会の活動にご協力賜りますよう、お願いいたします。 ※写真提供: 飛騨御坊ボランティア委員会・真宗大谷派



今後、各種義援金勧募や飛騨御坊ボランティア委員会へのご協力など、何卒、よろしく願います。

## 聖教学習会 「是旃陀羅問題に学ぶ」

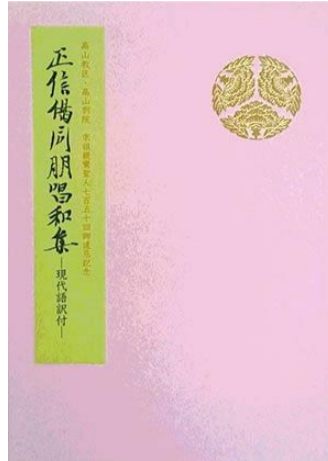
第2回/2月19日(月)・第3回/3月6日(水) 午後1時半～ 会場: 別院会館研修室

皆さん、『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』(以下、『正信偈同朋唱和集』)をご活用いただいているでしょうか。この現代語訳付きの勤行本は、旧高山教区・高山別院の御遠忌の記念出版として2017年6月末に発行され、もう約6年半がたちます。当初、御遠忌懇志の記念品として約20,000冊が発行され、有償頒布版は現在第3版を数え、約16,500冊が頒布されました。

センター教化の三本柱の一つとして、「同朋唱和の推進」が掲げられています。この同朋唱和とはいかなるものかを確かめながら、僧俗共に同朋唱和が出来る場を開いていくことが求められています。それとともに、勤行本、特に高山で発行された『正信偈同朋唱和集』について、どのような願いと経緯をもって発行されたのか、理解を深めてもらうことも大事なことと考えます。

昭和40年、通称赤本と言われている『真宗大谷派勤行集』が発行され、長く親しまれてきました。『正信偈同朋唱和集』は、この赤本とページ数を合わせたお勤めの本として使ってもらえるようになっています。現在、全国からの注文が増えつつあり、一時的なものとして姿を消していくのではない、継続的により多くの方に求められる勤行本となってきています。

さらに『正信偈同朋唱和集』についての理解を深めていただくことを願い、今月号より3回にわたり、2018年10月に「しんらん交流館 web」に掲載された「高山教区『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』発刊にあたって」(インタビュー)を転載いたします。これには、「よりたくさんの方に手に取ってほしい、ご購入いただきたい」という思いもあります！



『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』記念品版

そうこうするうちに、宗祖御遠忌法要のお待ち受けの取り組みが始まり、その中で、赤本とページ数を合わせた勤行本を作ろうという提案をさせてもらいました。ちょうど2007年に三木さんが大谷大学から自坊に帰ってこられたこともあり、この頃、何人かの方に声をかけさせていただき、高山教区での宗祖御遠忌の取り組みとして、現代語訳版勤行本の発行についての検討が始まりました。

【三木】高校生でも、お母さんでも、手にとって分るものを作りたいんや

内記さんからは当初から「高校生でも、お母さんでも、手にとって分るものを作りたいんや」というお気持ちを聞いていました。法事の時に、正信偈を読める人はもちろん、普段は遠方で暮らしている若い人にも、ただ座っているだけでなく、教えに触れるきっかけになれば、ということがこの『正信偈同朋唱和集』に込められた願いの一つです。

【内記】先輩から言われたこと

高校生でも分る言葉で発信しないと意味がない、ということを経験から力を入れて言われたことが記憶に残っています。

【三枝】同朋唱和推進や報恩講の回復の動きとも連動

高山での宗祖御遠忌法要では、同朋唱和の推進が教化の取り組みとして大きく掲げられています。『正信偈同朋唱和集』発行の当初の願いについては今お二人がお話しされたとおりでありますが、編集作業を進める中で、自ずと御遠忌の同朋唱和推進や報恩講の回復の動きとも連動し、最終的には、その推進の一助となればという願いを体した勤行本としての発行となりました。

内記 浄三木朋哉 / 『正信偈同朋唱和集』編集委員 三枝正尚 / 御遠忌事務局員 (当時)

< 続く >

Q同朋唱和集の発刊の願いを教えてください！

【内記】「正信偈」には何が書かれているの？という門徒さんの問いかけから

以前から、高山教区(当時)は正信偈のお勤めができる方の多い地域だなと思っていました。しかし、門徒さんに時々聞かれるんです。「正信偈ってどういうものですか?」「いったい何が書かれているんですか?」と。赤本(『真宗大谷派勤行集』)までしか触れていない方々にとっては、何か大切なことが書いてあるという認識はあっても、それが何であるかよく分からないということなのでしょう。

蓮如上人の御遠忌の頃、本山で同朋奉讃(お早引きの形式)による三帖和讃の勤行集(増補版勤行集(青本))が発行されましたね。全ての和讃に触れることが出来るのはありがたいのです

が、和讃とはいえ原文そのものですから、現代語訳がほしいと思っていました。門徒さんからも、全国各地で出版されている現代語訳などの書籍を何種類か見てもらい、やはり現代語訳のものがほしいと強く要望されました。しかし、現代語訳を掲載した勤行本を本山で出せるのかというと、なかなか難しいのではないかと感じていました。

【内記】本山発行の赤本とページを合わせて、一緒に使ってもらえるよう制作

また、本山以外で作られた勤行本は、それぞれの組み立てで制作されているので、大体、赤本とはページが合わないんですね。門徒さんは赤本のページ数を覚えているので、現代語訳が入っていてもページ数が合わないとても使いづらいんです。

飛騨御坊ホームページ『ひだご坊一口法話』2月

日野 光洋氏 (益田組桂林教会主管者)

江馬 雅臣氏 (益田組賢誓寺副住職)



WEB一口法話はこちら

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。

真宗公開講座—第4・5回ご案内

第4回 2月18日(日) 14:00~ 大谷専修学院主催  
「念仏する法蔵」 狐野秀存氏(大谷専修学院前学院長)

第5回 3月7日(木) 14:00~ 同朋大学主催  
「往生をねがうしるし」 市野智行氏(同朋大学准教授)



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2024年2月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場			
1	木				17	土						
2	金	14:00	教 解放推進協議会常任委員会		18	日	14:00	七 真宗公開講座④	御坊会館			
3	土	13:00	別 三日の御坊 法話:櫻居和彦氏(西光寺住職)	本堂	19	月	13:30	七 聖教学習会「是旃陀羅問題に学ぶ」②	研修室			
4	日				20	火						
5	月	8:00 14:00	別 半日華 教 開頭部会・育成部会正副幹事会	WEB	21	水						
6	火	13:30 15:00	七 青少幼年会議 教 解放推進協議会 輪読学習会	センター室 研修室	22	木	13:00	組 高山2組婦人聞法会	御坊会館			
7	水				23	金						
8	木				24	土						
9	金		組 高山2組同朋の会推進講座後期教習(〜11日)		25	日						
10	土				26	月	8:00	別 半日華				
11	日	13:00	別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞氏(輪番)	御坊会館	27	火	13:00	別 親鸞聖人御遠夜	本堂			
12	月				28	水	13:00 13:30	別 親鸞聖人御命日 法話:中川唯真氏(教区駐在教導) 教 高山支部坊守研修会	本堂 研修室			
13	火	7:00	別 前往上人ご命日	本堂	29	木	15:30	組 高山1組末日後	研修室			
14	水	13:30	組 高山2組組会・高山2組門徒会 追弔会報恩講	御坊会館	2024年3月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。							
15	木	19:00	七 組長懇談会	研修室	3	日	13:00	別 嘉念坊上人法要・総会	6	水	13:30	七 聖教学習会③
16	金				7	木	14:00	七 真宗公開講座⑤	10	日	13:00	別 納骨経
					13	水	13:30	組 高山2組組会・門徒会	14	木	9:00	別 おみがき